

平成 23 年度

事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

公益財団法人 世田谷区保健センター

平成23年度 事業実績

I. 事業実績

(公益財団法人として)

平成23年度は、財団設立より34年目を迎え、公益財団法人移行後始めて1年を通じて事業を展開する年であり、また保健センター及び総合福祉センターの第3期指定管理者として選定された年でもあった。

当財団は、平成23年3月に策定した「保健センター経営ビジョン」、6月に出された「総合福祉センターあり方」を基本に、世田谷区と連携のもと、事業効果や効率性、サービスの向上の観点から公益財団法人にふさわしい事業のあり方を検討してきた。

また公益財団法人として必要不可欠なテーマとして、コンプライアンスの遵守、個人情報の保護を掲げ、コンプライアンス規程を策定し、個人情報保護の研修を行うなど、職員の意識を高めた。

さらに保健センター中長期ビジョン、規程・規則などをホームページに掲載するなど、情報の開示を進め、併せて学会や専門誌に発表した論文を公開することで、不特定多数の利益の増進という公益財団法人としての基本目的も果たしてきた。

なお、厳しい区の財政状況を踏まえ、事業の一層の効率化と経費の縮減につとめながら、公益財団法人としての公益目的事業の収支相償の維持、公益目的事業を支える収益事業収入の確保を行ってきた。さらに中間期における財務状況を的確に把握するため、監事による期中監査を実施するなど、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向けた取り組みを開始した。

(財団運営の状況)

財団存続と区立2施設の指定管理者として今後も継続的に指定を受けるため、財団の財務状況の向上は必須であることから、財団内に係を横断する形で営業チームを設置し、利用者増、収入増を目的として検討を進めている。

また23年3月の東日本大震災を踏まえ、「防災」と「節電」をテーマに、必要な対策を行っている。「防災」の観点では、緊急地震速報の全館自動放送のシステム導入、館内の全什器備品の耐震化対策を施すなど施設の安全性を高め、さらに防災用備蓄（水・食糧）も確保してきた。一方「節電」としては、自動ドア開閉時の室内温度のロスを防ぐエアーカーテンを設置し、同時に照明のLED化を進めることでもエコの推進に努めた。

広報活動としては全世帯配布の健康情報誌「げんき人」の継続をはじめ、エフエム世田谷における番組のレギュラー化、近隣世帯へのがん検診の有効性を説いたチラシのポスティングなど、健康情報の提供、がん検診の啓発を不特定多数の区民に行うなど新たなアプローチでの広報を行った。

施設面では適切な補修を行いながら、利用者の高齢化に合わせたトイレ改修、花と緑に溢れた保健センターのための地域区民ボランティアによる花壇の維持運営など、利用者の視点に立ったホスピタリティ溢れる施設を実現した。

1 公益目的事業

公益 1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 (保健センター事業)

(1) 区立保健センター維持管理運営事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センター施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) がん検診事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

① 胃がん検診

40歳以上の区民を対象に、保健センターの施設内及び2台の検診車で胃X線撮影による胃がん検診を実施し、検診の結果、必要な人に対しては医療機関と連携して、精密検査の受診を勧奨した。

23年度は、区が実施した個別勧奨に対応するため実施回数を増やしたほか、新たな取り組みとして、商店街を対象とした胃がん検診を試行実施した。

東日本大震災等の影響で上半期の受診者数は伸びなかったが、下半期は受診者拡大に向けた区の個別受診勧奨などの効果もあり、昨年に近い実績を残すまで回復した。対象年齢が35歳以上から40歳以上に引き上げられたことから、40歳以上の受診者数で比較すると、平成22年度が13,405人、平成23年度が13,719人で2.3%の増加となっている。

[表1]

事業項目		年度		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
胃がん検診	回数	570回	602回	105.6%	595回	544回	487回		
	受診者数	15,000人	13,719人	91.5%	15,000人	14,228人	13,682人		
	がん発見数		17人			18人 (15人)	24人 (21人)		

※ 申込数 14,826 人（受診率 92.5%）、要精検数 2,372 人（要精検率 17.3%）

※ がん発見数は平成 24 年 3 月末現在の人数である。なお、前年までの各年 3 月末時点における実績は（ ）に記載のとおり

② 乳がん検診

40歳以上の区民（女性）を対象に行われている乳がん検診において、マンモグラフィ（乳房X線撮影）受託機関として撮影及び読影を実施した。

なお、23年度も女性がん無料検診事業にもとづく乳がん検診（無料クーポン券利用）が行われ、実績は合算数を記載している。

[表2]

事業項目		年度		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
乳がん検診	回数	150回	171回	114.0%	145回	170回	169回		
	受診者数	1,600人	1,199人	74.9%	2,000人	1,615人	2,036人		

※ 無料クーポン券利用者 296 名を含む

※ 申込数 1,222 人（受診率 98.1%）、要精検数 189 人（要精検率 15.8%）

（3）健康増進事業（定款第4条第1号事業）

① 健康度測定・再測定、運動負荷測定、健康増進指導

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象として、健康度測定・再測定、運動負荷測定、健康増進指導を実施した。23年度は健康度測定の充実を図り、また糖尿病予防や壮年期などターゲットを明確にした心とからだの健康づくりをテーマにした教室を実施した。

[表3]

事業項目		年度	23年度			22年度		21年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数			83回			87回	88回
	測定	人数	1,700人	1,784人	104.9%	1,700人	1,843人	1,853人
	再測定	人数	100人	91人	91.0%	100人	67人	89人
運動負荷測定	回数			46回			44回	45回
	人数		150人	152人	101.3%	150人	159人	158人
健康増進指導	回数			441回			410回	448回
	人数		12,000人	13,221人	110.2%	11,000人	12,865人	12,502人

※ 健康度測定受診総数 1,875 人のうち、個別の休養指導（こころ・健康管理）1,438 人、栄養指導（食生活改善）1,441 人、運動指導（活動・運動方法）1,503 人を実施

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり

- ・トータルな健康づくり 198 回（参加数 6,177 人）
- ・心とからだの癒しと元気 39 回（参加数 1,029 人）
- ・食での健康 20 回（参加数 420 人）
- ・からだの元気 121 回（参加数 4,325 人）
- ・壮年期 夜間・土曜 63 回（参加数 1,270 人）

② 地域での健康づくり支援

(ア) 実地指導・健康づくり支援

区関係機関の依頼により、地区での健康教室や自主グループ活動に運動指導員等を派遣した。また、地域で行われる健康づくりに関する行事等の開催に協力し、区民の健康づくり活動を支援した。23年度は地域交流会を開催し、参加者全員で運動を楽しんだり、継続のための工夫や問題点を話し合う機会を設け、健康づくりの輪を広げた。

[表4]

事業項目		年度	23年度			22年度		21年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数		1,150回	1,144回	99.5%	1,100回	1,123回	1,141回
	指導人数			18,206人			18,216人	19,390人
健康づくり支援	回数		100回	103回	103.0%	100回	72回	154回

(イ) 壮年期世代の健康づくり支援

就労世代の健康づくりを支援するため、地域の事業所などに運動や食生活指導を行う専門職を派遣した。23年度は新規者の獲得に向けた取り組みとして、地域で壮年期世代を対象とした講座を開催した。

[表5]

事業項目		年度		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
区講座への 講師派遣	回数	10回	5回	50.0%	10回	9回	10回		
	人数		151人			325人	230人		
地域講座 (新規)	回数	3回	6回	200.0%	—	—	—		
体験・相談	回数		25回			3回	—		
教室	回数	健康増進指導へ			70回	67回	70回		
	人数	事業区分変更				1,880人	1,532人		

(ウ) 出張健康チェック

地域で開催される健康づくりに関する行事等で区民の体脂肪量や筋肉量の体成分測定等を実施し、区民の健康づくりを支援した。23年度は8回中3回を土日・祝日に実施した。

[表6]

事業項目		年度		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
出張健康 チェック	回数	10回	8回	80.0%	10回	9回	12回		
	人数		233人			326人	590人		

(エ) 健康づくり支援リーダーの養成・活動支援

地域の健康づくりグループに対し、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導することができるリーダーを養成し、自主的な健康づくり活動を支援した。23年度は

5期生を養成したが、以前より補習や実習を多くするなど、リーダーの支援レベルの底上げを図った。

また、養成したリーダーや自主的に活動しているグループのリーダーを対象として指導技術の維持向上を図るための研修会や指導実習を実施したほか、リーダーによる実地指導では計画通りに地域のグループに対し活動を支援した。

[表 7]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数	10人	参加19人 認定14人	140.0%	—	—	参加15人 認定14人
上級リーダー養成	人数	—	—	—	10人	11人	—
研修会(講座)	回数	10回	10回	100.0%	10回	8回	8回
研修会(指導実習)	人数	50人	50人	100.0%	50回	50回	100回
リーダー交流会	回数	6回	6回	100.0%	6回	6回	—
リーダー実地指導	回数	320回	318回	99.4%	320回	314回	314回

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施

※ 研修会(指導実習)は23年度より集計単位を回数から人数(実人数)に変更

(4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

① 講演会・講習会等

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。23年度は22年度に引き続き心の健康づくりを推進するため、夜間に座禅講習会を開催した。

[表 9]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
歯科衛生教室	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		384人			321人	310人
薬事相談	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		468人			364人	196人
薬草教室	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		77人			79人	38人
健康相談・ 講演会	回数	4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数		1,030人			936人	1,212人
講演会・ 講習会	回数	2回	4回	200.0%	6回	6回	6回
	人数		490人			525人	389人

② 保健センターまつり

より多くの区民に対し、「健康」を知る・試す・考えるためのきっかけを提供し、同時に世田谷区保健センターの存在や事業内容等を広く知ってもらうためのイベントとして、10月30日（日）に開催した。

第2回となる今回は、壮年期世代を含む比較的若い区民へのアプローチにも力を入れ、近隣小学校を通じての周知などを行ったほか、健康づくり自主グループにおける長期継続表彰や震災復興支援コーナー、総合福祉センターコーナー（福祉用具の展示・相談）なども取り入れて実施した。

[表 10]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
イベント	回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	—
	人数		1,455人			848人	—

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり

・体力測定	参加数	195人	・胃検査紹介コーナー	参加数	110人
・骨密度測定	参加数	242人	・福祉用具展示コーナー	参加数	50人
・食事バランス	参加数	157人	・医療機器紹介	参加数	100人
・体験講習会	参加数	350人	・ウォーク・ラリー・イベント	参加数	91人
・マシントレーニング体験	参加数	130人	・チーズ講座	参加数	30人

③ 健康教育指導

継続的な運動の機会を提供し、区民の健康づくりを支援した。

[表 11]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数	440回	437回	99.3%	440回	434回	484回
	人数		19,361人			18,855人	20,724人
マシン トレーニング	回数		1,235回			1,258回	1,203回
	人数	12,500人	13,251人	106.0%	12,000人	12,748人	12,140人

④ 出張指導

他の団体等からの依頼により健康増進に関する実技指導等を行った。

[表 12]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
職員派遣	派遣人員	165人	160人	97.0%	165人	161人	172人
	参加人員		2,486人			2,101人	3,190人

⑤ 健康情報誌「げんき人」の発行

健康情報の普及・啓発を目的として、保健センターの健康情報誌（紙）「げんき人」を発行した。23年度はタブロイド判を3回発行し、新聞折込みにより区内全域に配布したほか、従来の冊子形式を1回発行し、区施設等の窓口を通じて区民に配布した。

[表 13]

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
23. 6. 1 (第66号)	呼吸法&ストレッチで心とカラダをセルフケア 健康度測定で自分の健康を調べましょう ほか	タブロイド判 2ページ 300,000部
23. 10. 1 (第67号)	年に1度はがん検診 健康教室のお知らせ ほか	タブロイド判 4ページ 300,000部
24. 2. 1 (第68号)	勘違いしやすい食事の常識 ほか	タブロイド判 2ページ 300,000部
24. 3. 1 (第69号)	最新版 保健センターまるごとガイド 平成24年度開催予定 健康づくり教室・コースのご案内 ほか	A4判 6ページ 20,000部

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。

[表 14]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	20人	10人	50.0%	40人	18人	16人
動機づけ支援	実人数	60人	47人	78.3%	160人	52人	92人

**公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業
(総合福祉センター事業)**

(1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

(2) 機能訓練事業 (定款第4条第2号事業)

①成人機能訓練

心身に障害のある人を対象に、自立した日常生活を送るための指導・助言を行い、併せて生活意欲を高めて社会性を身につけさせるため、個別及びグループでの訓練を実施した。

[表 15]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
成人機能訓練	個別						
	実人数	500人	405人	81.0%	500人	537人	485人
	延人数	1,600人	1,645人	102.8%	1,600人	1,790人	1,522人
グループ	実人数	20人	50人	250.0%	20人	56人	51人
	延人数	500人	632人	126.4%	500人	758人	665人

② 障害者自立支援法 自立訓練

身体障害者、知的障害者の自立の促進、生活の質の向上等を図るため、障害者自立支援法による自立訓練を実施した。

[表 16]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立訓練							
個別	実人数	50人	67人	134.0%	50人	73人	72人
	延人数	2,000人	2,393人	119.7%	2,000人	2,422人	2,315人
グループ	実人数	40人	37人	92.5%	40人	43人	40人
	延人数	1,800人	1,502人	83.4%	1,800人	1,621人	1,449人

③児童機能訓練

発達の遅れや障害のある乳幼児を対象に豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を早期の段階から育てていくため、個別及びグループ訓練を実施した。

訓練の体系は、不定期に訓練を実施する③児童機能訓練と定期的に訓練を実施する④障害者自立支援法児童デイサービスに分類し、増加する訓練需要に応えるため、利用者の状況に応じて訓練内容および枠の拡充に努めた。

[表 17]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
観察評価		2,500件	2,600件	104.0%	2,500件	2,571件	2,499件
児童機能訓練（継続相談）							
個別	実人数	400人	294人	73.5%	400人	334人	305人
	延人数	700人	981人	140.1%	700人	1,075人	1,003人
グループ	実人数	125人	145人	116.0%	125人	114人	105人
	延人数	320人	332人	103.8%	320人	312人	321人

④障害者自立支援法 児童デイサービス

心身の発達の遅れや障害のある乳幼児の身辺自立や集団適応の向上等を図るため、障害者自立支援法による児童デイサービスを実施した。

[表 18]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
児童デイサービス							
個別	実人数	550 人	575 人	104.5%	550 人	563 人	533 人
	延人数	5,020 人	5,779 人	115.1%	5,020 人	5,584 人	5,509 人

グループ	実人数	115 人	148 人	128.7%	115 人	153 人	98 人
	延人数	3,790 人	4,142 人	109.3%	3,790 人	4,095 人	3,500 人

(3) 相談・交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

区民や関係機関からの障害に関する相談に応じるとともに、障害のある人もない人も地域社会でともに生き、社会参加や生活の充実が図れるよう各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、地域支援の充実として児童福祉施設や障害者福祉施設等からの依頼により、専門職員の派遣や児童の療育内容の詳細な技術解説など、施設職員に対する技術援助および指導を行った。

[表 19]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相 談	新規相談件数	1,450 件	1,785 件	123.1%	1,450 件	1,878 件	1,634 件
交 流	講習会等参加	2,800 人	1,446 人	51.6%	3,000 人	2,504 人	2,710 人
技 術 支 援	受託事業	485 回	548 回	113.0%	505 回	549 回	374 回
	個別支援	130 回	152 回	116.9%	90 回	116 回	91 回
研 修	人 数	1,000 人	1,378 人	137.8%	1,000 人	1,245 人	1,214 人

(4) 福祉用具・住宅改造展示相談室事業（定款第4条第2号事業）

身近な福祉用具の紹介や使い方の指導、住宅改造の相談、リサイクルやレンタル情報の提供を実施した。

[表 20]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談・情報提供	件数	5,000件	5,333件	106.7%	5,000件	5,221件	5,260件

(5) 高齢障害者支援事業（定款第4条第2号事業）

介護保険制度における通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション事業を実施した。（21年度末をもって玉川分室での通所リハビリテーションは終了（閉鎖）した）

[表 21]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
通所リハビリ テーション	実人数	180人	181人	100.6%	190人	188人	215人
	延人数	5,200人	5,806人	111.7%	5,800人	6,100人	8,202人
訪問リハビリ テーション	実人数	130人	137人	105.4%	150人	143人	78人
	延人数	2,300人	2,410人	104.8%	2,160人	2,607人	2,378人

2 収益事業

収益 1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

(1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。23年は夜間CT検査を開始したほか、電話による検査予約受付時間を夜7時まで延長し、サービスの向上を図った。

[表 22]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃							
内視鏡検査	件数	2,200件	1,788件	81.3%	2,200件	1,853件	1,982件
病理組織検査	件数	650件	527件	81.1%	650件	512件	630件
大腸							
内視鏡検査	件数	350件	266件	76.0%	350件	349件	357件
病理組織検査	件数	120件	119件	99.2%	120件	137件	154件
乳房							
一般撮影	件数	450件	272件	60.4%	450件	361件	450件
スポット撮影	件数	50件	51件	102.0%	50件	53件	60件
超音波検査	件数	500件	311件	62.2%	500件	421件	505件
細胞診検査	件数	50件	21件	42.0%	50件	52件	48件
子宮							
内視鏡検査	件数	100件	123件	123.0%	50件	106件	44件
病理組織検査	件数	100件	122件	122.0%	50件	105件	42件
細胞診検査	件数	100件	124件	124.0%	50件	107件	45件
MRI検査	件数	2,300件	1,906件	82.9%	2,300件	2,094件	2,233件
CT検査	件数	2,300件	1,845件	80.2%	2,300件	2,078件	2,056件
腹部超音波検査	件数	250件	231件	92.4%	250件	271件	235件
心臓							
ホルター心電図	件数	50件	22件	44.0%	55件	27件	35件
超音波検査	件数	165件	187件	113.3%	160件	155件	157件

(2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。子宮がん検診では、世田谷区が実施する個別勧奨の対象者が縮小されたことにより、22年度と比較すると頸部、体部ともに実績件数が減少したが、頸部については計画数を上回った。

① 子宮

[表 23]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数	24,000件	24,216件	100.9%	16,000件	30,167件	23,219件
	体部件数	2,300件	1,957件	85.1%	1,800件	2,725件	2,522件
	がん発見数		5人			21人 (13人)	26人 (8人)

※ がん発見数は平成24年3月末現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり

※ 無料クーポン券利用者6,243名を含む。

※ 総検体数26,176件、受診者実数24,246人、要精検数507人(要精検率2.1%)

② 大腸

[表 24]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数	21,000件	19,083件	90.9%	21,000件	19,925件	18,876件
	がん発見数		49人			34人 (24人)	63人 (50人)

※ がん発見数は平成24年3月末現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は()に記載のとおり

※ 受診者実数19,083人、要精検数1,295人(要精検率6.8%)

(3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

公益財団法人世田谷区保健センター料金規程等による事業として、健康診断、脳ドック、小中学生心臓検診精密検査等の検査を実施した。とりわけ企業健診、動脈硬化検査など需要の増加にこたえた。なお脳ドックでは検査内容を充実させたため、一人あたりの所要時間が延び、実績数はやや減少する結果となった。

[表 25]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生心臓精密検査	人数	100人	118人	118.0%	100人	101人	112人
企業健診	人数	1,800人	1,917人	106.5%	1,800人	1,893人	1,737人
個人健診	人数	400人	593人	148.3%	400人	599人	619人
脳ドック	人数	220人	186人	84.5%	220人	256人	205人
動脈硬化検査	人数	1,000人	1,061人	106.1%	1,000人	1,084人	1,126人
体成分分析測定	人数	—	117人	—	—	149人	134人

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業
(総合福祉センター事業)**

(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)

自宅で安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。

[表 26]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アドバイザー派遣	回数	280回	269回	96.1%	300回	276回	291回

(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)

障害者のいる高齢者施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。近年は失語症や嚥下指導などに対応するために言語聴覚士のニーズが高まっている。

[表 27]

		23年度			22年度		21年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数	150回	183回	122.0%	150回	178回	161回